

コンプライアンス及びリスク に関する行動原則



SUMITOMO MITSUI
FINANCIAL GROUP

◆ グループCEOからのメッセージ

今、我々を取り巻く環境は大きく変化し、人々の価値観も多様化しています。しかしながら、我々のビジネスが、お客さまや株主、そして社会からの信頼の上に成り立っていることに変わりはありません。「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」というビジョンの実現に向けて、SMBCグループの従業員が普遍的な価値観として共有するものが Five Values です。

Five Values のなかでも Integrity は、みなさんが日々考え、行動する際に最も大切にして欲しい価値観です。Integrity は、コンプライアンスを遵守することは当然のこととして、これにフェアネスの精神と私利私欲に走らない誠実さが加わることで育まれます。みなさん一人ひとりが金融のプロフェッショナルとして、規制やルールを遵守するだけでなく、公正かつ誠実にお客さまに対応する。その積み重ねがステークホルダーからの揺るぎない信頼の土台となり、SMBCグループが品位ある金融グループとして社会に認められることに繋がります。みなさんの日々の積み重ねを支えるべく、「コンプライアンス及びリスクに関する行動原則」を定め、金融のプロフェッショナルとして求められる姿勢、期待される行動を示しております。

先行き不透明な時代の中で、SMBCグループが強くあり続けるために、Five Values のなかでもう一つ、Team “SMBC Group” を意識してください。多様な力を結束できる強いチームは、一人ひとりが発信する率直な声を、仲間達が聴き尊重してくれる安心感がある状態（心理的安全性）を整えています。SMBCグループでは、みなさんが何かおかしいと感じたことを伝えられる仕組みを準備しています。みなさんの職場においても、互いに自由にアイデアを提案したり、懸念を発信したりできる（Speak Up）環境を作り上げて欲しいと思います。

みなさんが、SMBCグループの一員であることを誇りに持ち、公正かつ誠実に日々の業務に取り組み、互いに助けあい、励ましあい、時には高めあう、そんな品位ある強い SMBCグループを一緒に作り上げていきましょう。

2025年4月



三井住友フィナンシャルグループ
取締役 兼 執行役社長
グループCEO

中島 達

◆ 「コンプライアンス及びリスクに関する行動原則」とは

SMBCグループでは、企業活動の基盤となる経営理念に、ステークホルダーに対して果たすべき使命を掲げています。この経営理念に加え、中長期的に目指す姿を示す「ビジョン」や、全役職員が共有すべき価値観としての「Five Values」を理念体系として策定しています。

こうした理念に基づき、「最高の信頼を通じて、お客さま・社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」として持続的に成長するためには、「進取の精神」を持って、寧ろ果敢に健全なリスクテイクを行い、チャレンジしていくことが重要です。一方で、こうしたリスクテイクが可能になるのは、コンプライアンスの確保を含む適切なリスク管理があってこそであり、とりわけ、総合的金融グループにおいては、その公共的使命と社会的責任の重さから、一般事業会社以上にリスク管理を重視する必要があります。

「コンプライアンス及びリスクに関する行動原則」は、全ての役職員が、Five Values等に凝縮される価値観を、こうしたリスクテイクとリスク管理の「両輪」を意識した具体的な行動に移すために定めました。本行動原則に則り、実行することにより持続的な事業成長を果たし、企業価値・社会価値の向上につなげていきます。



正しい行動かどうか判断に迷う際に立ち返る判断指標として、 **5つの行動類型**を定めます

リスクオーナーシップの発揮と健全で果敢な リスクテイクの実践

全役職員がリスク・オーナーであることを意識し、ビジネスに付随する各種リスクの検証とコントロールを対応すると共に、果敢にリスクテイクに取り組み、最高の信頼の獲得に努めます



法令・ルール及び社会規範の遵守

法令・ルールの遵守は無論のこと、社会規範に照らして、正しい行動を常に追求し、様々なステークホルダーの期待と信頼に応えます



お客さまの最善の利益の追求

お客さまの財産・情報の保全・保護を第一に考え、その最善の利益に適う商品・サービスの選択に努めることで、お客さまの持続的発展や健全な資産形成等に寄与します



健全・安心で開かれた職場環境の実現

お客さまを含めた全てのステークホルダーの多様性を尊重し、個々人が自身の能力を存分に発揮すべく、スピークアップのしやすい・風通しの良い職場環境を実現します



公正かつ誠実な言動の実践

上記を含め、プロフェッショナルとして、常に高い倫理観を保持し、公正かつ誠実に業務を遂行することで、経営理念の実現と社会的価値の創出に貢献します



リスクオーナーシップの発揮と健全で果敢なリスクテイクの実践



- 【1】 過去に前例がなく困難な状況であっても、一層価値のある商品・サービスを提案するため、自ら進んで前向きに挑戦します。また、そのような挑戦をSMBCグループ全体で奨励・支援します

- 【2】 全役職員がリスク・オーナーであることを意識し、所管業務から発生する各種リスクが顕在化する前に把握したうえで、プロアクティブにリスクをコントロールします

法令・ルール及び社会規範の遵守



- 【3】 マネー・ローンダリング、テロ資金供与、経済制裁、租税回避に係る法規制を遵守し、金融犯罪及び反社会的勢力に毅然とした態度で対応します
- 【4】 適切な接待・贈答を含め、利害関係者との節度ある関係を維持します
- 【5】 機密情報の不当もしくは目的に反した利用により、インサイダー取引等の自己又は第三者の不当な利益を得る行為に関与しません
- 【6】 お客様の利益を不当に害することがないよう、相反する利益関係を適切に管理し、お客様及び当社の財産・信用を保護します
- 【7】 不公正な取引[※]は断じて行わず、市場の公正性・健全性の確保に努めることで、市場の信頼性を守り、市場の発展に尽くします

※ 不公正な取引：カルテル、優越的地位の濫用、相場操縦行為等
- 【8】 当社の事業活動の成果として創出された知的財産を適切に保護・活用するとともに、他者の知的財産も権利侵害しません
- 【9】 法令・基準[※]に則り、健全な経営システムを確立し、全てのステークホルダーに配慮した経営を行います

※ 株式会社・金融機関・経済秩序及び市場秩序に関する法規制、国際/日本会計基準、内部規程等
- 【10】 当社が届出又は提出する報告書類等において、必要十分な情報をわかりやすく、公正、正確、迅速に開示します
- 【11】 サプライヤーおよび外部パートナーの活動が、SMBCグループのコンプライアンス及びリスク管理方針に準拠しているか確認します

お客さまの最善の利益の追求



- 【12】継続的なコミュニケーションを通じて、お客さまの声に真摯に耳を傾け、お客さまの真のニーズを的確に把握します
- 【13】多様化するお客さまのニーズや法令等の要請を勘案し、お客さまの最善の利益とは何かを自ら考え、それらに見合う商品・サービスをSMBCグループ全体で迅速に提案することで、提供価値の最大化を目指します
- 【14】商品・サービスの提供にあたっては、必ずその内容・リスク・手数料について適切かつ十分な説明を行い、お客さまの誤解を招く不当表示、誇大広告を行いません。また、定期的なモニタリングを通じて品質管理を徹底します
- 【15】お客さまの財産・個人情報とは、常に厳重に管理し、AIの活用やサイバー犯罪により高まるリスク等から適切に保護することで、お客さまの信頼に応えます
- 【16】お客さま等から苦情等を受けた時には、直ちに事実関係を調査したうえで迅速かつ適切な事後措置を講じます

健全・安心で開かれた職場環境の実現



- 【17】自由に発言しやすい雰囲気を作ること、革新的なアイデアや挑戦が尊重され、活発的で多方向のコミュニケーションが実現できる職場を作ります
- 【18】「正しい行動かどうか」を基準に意思決定を行う人材の育成と、それが報われる公正な評価を行います
- 【19】内部規律を維持するため、提起された懸念を真摯に受け止め、迅速に対応します。また、全役職員はあらゆる社内調査に全面的に協力します
- 【20】内部規律違反を厳正に対処するため、内部通報制度を整備し、懸念を提起した役職員の情報を厳重に取り扱うと共に、報復行為から保護します
- 【21】内向きな思考を打破し、ベストプラクティスについて情報を共有しあうことで、SMBCグループ全体のコンプライアンス体制・リスク管理体制を強化します



【22】金融グループとして社会から求められる期待を正しく理解し、常に誠実な態度で臨みます

【23】持続可能な社会の実現[※]を目指すと共に、公共性・健全性の追求、お客さまの利益や社会の発展、経営理念の実現に資する正しい行いを賞賛します

※ SMBCグループにおける「サステナビリティ」：「現在の世代の誰もが経済的繁栄と幸福を享受できる社会を創り、将来の世代にその社会を受け渡すこと」

【24】事業活動のあらゆる場面において、社会・お客さまを含む全てのステークホルダーの多様性[※]・権利を尊重し、いかなる理由に基づく不当な差別を行いません。相手を不快にさせるような言動は慎み、互いに相手の感じ方に十分配慮したコミュニケーションを行います

※ 人種、国籍、出生地、信条、宗教、性別、性的志向、性自認、年齢、障がい、健康状態、考え方など、それぞれの人々が持つ多種多様なバックグラウンド

【25】社会的な信用損失を発生させないために、リスクテイクにあたっては、常に公正で透明な意思決定を行います

発行日 2025年4月

編集・発行 三井住友フィナンシャルグループ
コンプライアンス統括部・リスク統括部